



2025年3月4日

各位

会社名 横河電機株式会社
代表者名 代表執行役社長 奈良 寿
コード番号 6841 東証プライム
問い合わせ先 IR部長 中谷 博彦
Tel 0422-52-6845

自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ

(会社法第165条第2項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得)

横河電機株式会社(本社:東京都武蔵野市 取締役代表執行役社長:奈良 寿)は、本日開催の取締役会において、下記のとおり会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議しましたのでお知らせします。

記

1. 自己株式の取得を行う理由

当社グループの中期経営計画 Growth for Sustainability 2028(GS2028)では、長期経営構想を念頭において成長戦略の実現のために成長投資を強化していきながら、持続的な企業価値及び株主価値の向上を実現していく取り組みを進めています。

その中で、キャッシュ・アロケーションの考え方として以下の2点を挙げ、「中長期的な企業価値の向上および最大化に向けた投資に優先的に配分すると同時に積極的な株主還元を図る」こととしています。

- ・資本性成長投資(戦略投資)枠を初年度からの3年間累計(2024年度~2026年度)で1,000億円とします。リスク総量、自己資本増減、および負債調達を前提としたリスク投資実行に伴うリスク量の増加想定を織り込んだ上で最適資本構成(リスクが顕在化した場合においても格付A格を維持可能な株主資本水準を保持し、且つ、次の成長に向けた一定のリスク投資余力を確保できる水準)を維持します。
- ・株主還元方針(利益処分に関する基本方針)については、中長期的な企業価値向上の最大化に向けた投資に優先的に配分していくものの、一定の財務基盤の確保を前提に、積極的な配当還元および自己株取得等による株主還元の向上を図ることを基本方針とします。配当性向による期間利益の一定比率を還元する考え方に加え、株主資本配当率を踏まえた安定的な配当の維持の考え方を維持するとともに、自己株取得についても、財務状況や株価水準等を踏まえながら追加的な株主還元として柔軟に検討します。

GS2028がスタートし1年目となる今期これまでの進捗を振り返ると、既存事業が順調に伸長している中で当初想定以上にキャッシュ・フローも積み上がり、運転資本効率の向上なども相まって一定以上の強固な財務基盤が確保されています。

このような状況の中、目標とする資本性成長投資(戦略投資)に必要なキャッシュは十分に確保できていることに加え、今後の事業環境、更なる投資余力を含む資本・財務状況並びに現在の株価水準、当社の株主還元方針等を総合的に勘案し、今般の自己株式取得の実施を決議しました。

なお、今後も、GS2028で掲げる「中長期的な企業価値の向上および最大化に向けた投資に優先的に配分すると同時に積極的な株主還元を図る」という考え方に何ら変更はなく、引き続きキャッシュ・アロケーションの考え方に沿って、株主還元の充実および資本効率の向上を図るとともに、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能にする取り組みを進めていきます。

2. 取得に係る事項の内容

- | | |
|----------------|--|
| (1) 取得する株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得する株式の総数 | 12,000,000 株(上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 4.61%) |
| (3) 株式の取得価格の総額 | 20,000,000,000 円(上限) |
| (4) 取得期間 | 2025 年 3 月 5 日から 2025 年 12 月末日まで |
| (5) 取得方法 | 東京証券取引所における市場買付 |

(ご参考)2025 年 2 月 28 日時点の自己株式の保有状況

発行済株式総数(自己株式を除く)	260,215,902 株
自己株式数	8,408,608 株

以上